

# 経営比較分析表

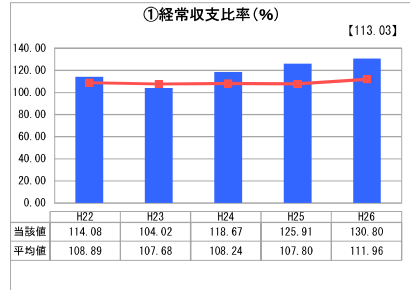
宮城県 名取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	88.83	99.61	3,402

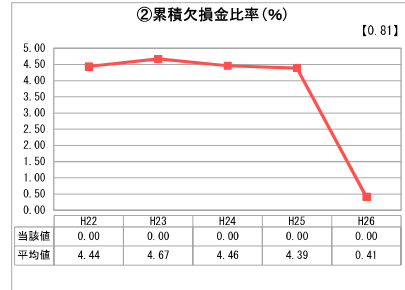
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
76,107	98.17	775.26
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
76,012	98.17	774.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

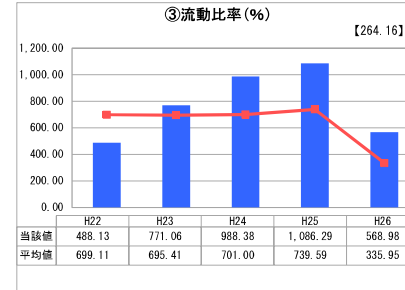
## 1. 経営の健全性・効率性



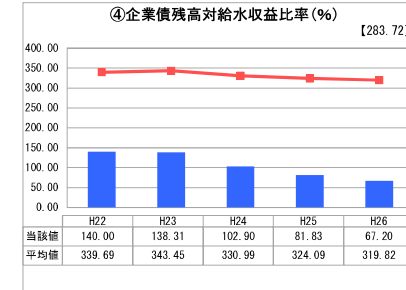
「経常損益」



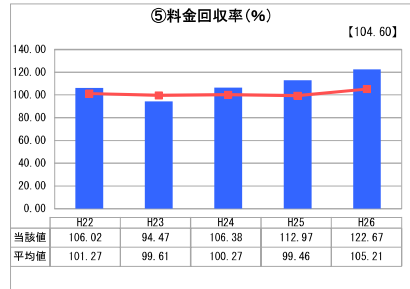
「累積欠損」



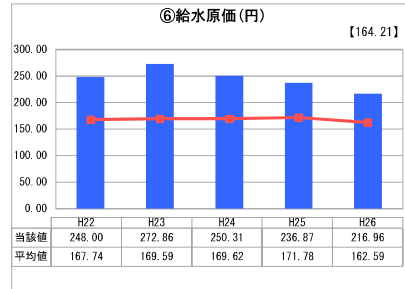
「支払能力」



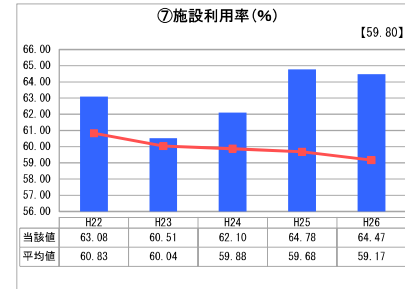
「債務残高」



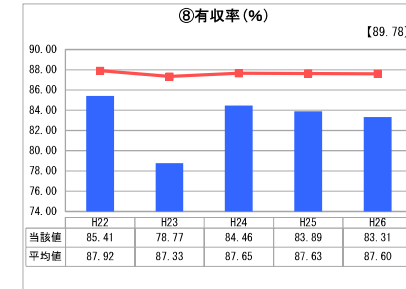
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

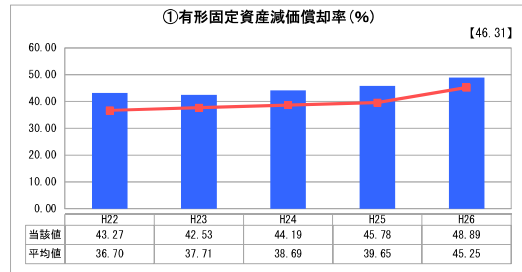


「施設の効率性」

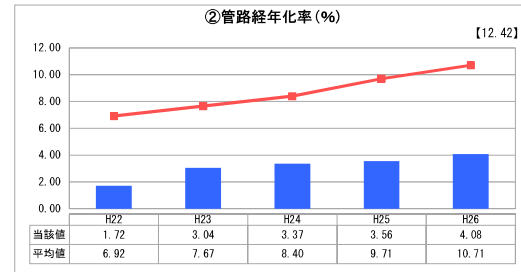


「供給した配水量の効率性」

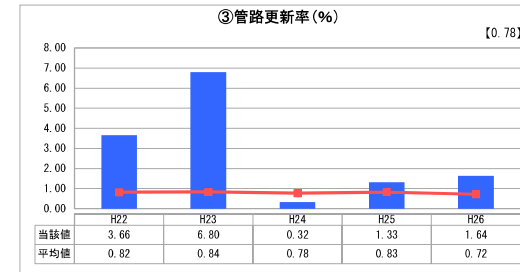
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、累積欠損金比率、流動比率、企業債残高対給水収益比率等経営の健全性・効率性に関する指標においては類似団体平均値と比して、課題となる傾向は見られない。  
 料金回収率において、H23年度の数値が類似団体に比して僅かに減少しているのは、先の大震災においての料金減免措置等の影響である。  
 また、有収率においては類似団体平均と比して若干ではあるが数値が低い傾向が見られるが、主な要因として地下漏水等の無収水量の影響等である。  
 今後も引き続き効果的な漏水調査の実施、修繕の対応が必要であるとする。

### 2. 老朽化の状況について

各指標を類似団体と比して見る限り、H23の管路更新率の数値を除いては継続的に経年施設の更新を行っている事が見られるが、H23年においての上記数値は先の大震災における緊急修繕の影響がある。

## 全体総括

全体的に各種指標を通して、全国平均値、類似団体平均値と比しても、特出して課題が発生している指標、改善が必要な傾向に進むと予想される指標・数値は見られない。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。